

newmo



newmo 自動運転開発室 紹介

Our Mission

“ 移動で地域をカラフルに ”

新たな地域交通の実現を通じて地域の潜在力を引き出す

会社概要

- newmoは“利用者視点に立ったサステナブルな地域交通”の実現を目指し、タクシー、ライドシェア、自動運転タクシーなどの事業を展開しています

社名	newmo株式会社
代表	青柳 直樹
設立	2024年1月4日
所在地	【大阪オフィス】 大阪府守口市八雲東町1丁目8番2号 【東京オフィス】 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号虎ノ門37森ビル 13階 【KBIC（かわさき新産業創造センター）】 神奈川県川崎市幸区新川崎7-7 KBIC 212号室
従業員数	1,581名 ※2025年7月末時点
主要子会社	株式会社岸交 株式会社未来都 堺相互タクシー株式会社 など



創業の背景

- CEOの青柳は2017年からモビリティ分野での起業を模索
- 2024年1月にnewmoを創業し、タクシー・ライドシェアドライバーとしてハンドルを握っています



- ✔ 普通二種免許取得 (2017年)
- ✔ 東京都地理試験合格 (2017年3月)
- ✔ 運行管理者試験合格 (2024年4月)
- ✔ 大阪タクシーセンター初任運転者研修修了 (2024年3月)

経営メンバー

- 規制産業である金融領域で実績のあるメンバーや、生活者向けサービスの経験豊富な経営陣が事業を推進



CEO

青柳 直樹

- 元メルカリ日本事業統括
- 元グリーCFO



CTO

曾川 景介

- 元メルペイ取締役 CTO
- 元メルカリCISO
- 元WebPay CTO



COO

野地 春菜

- 元Wolt Japan 代表
- 元Uber Eats オペレーション責任者



CBO

宮崎 聡

- 元サイバーエージェント取締役



CXO

松本 龍祐

- 元カンカク代表
- 元メルペイ取締役 CPO



CFO

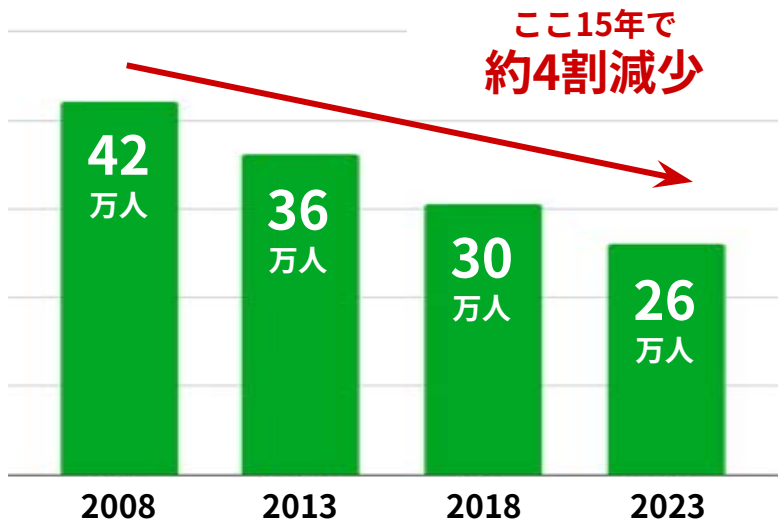
武藤 健太郎

- 元ブレイド取締役 CFO

解決したい課題

- 移動サービスに関わる人手不足が年々深刻化
- 同時に、全国で移動困難者が増加

タクシードライバー数の減少



全国ハイヤー・タクシー連合会、自公総連などのデータから集計（23年は推計）

バスドライバー数の減少



日本バス協会調べ、2021年までは実績、22年以降は推計

newmoの提供価値

- タクシー事業を基盤としながら様々なモビリティサービスを展開
- 自動運転タクシーの運行システムの内製開発にも着手

タクシー

一般乗用旅客運送事業
の運営

- ✓ 安定した供給
- ✓ フルタイム稼働の
二種免許ドライ
バー



ライドシェア

日本版ライドシェアの
運営

- ✓ 一次的な需要増に
対する供給
- ✓ すきま時間稼働の
普通免許ドライ
バー



人材紹介

ドライバーなどの人材
紹介

- ✓ ドライバー職等の
転職支援サービス



Coming Soon...

自動運転

自動運転タクシーの
商用運行

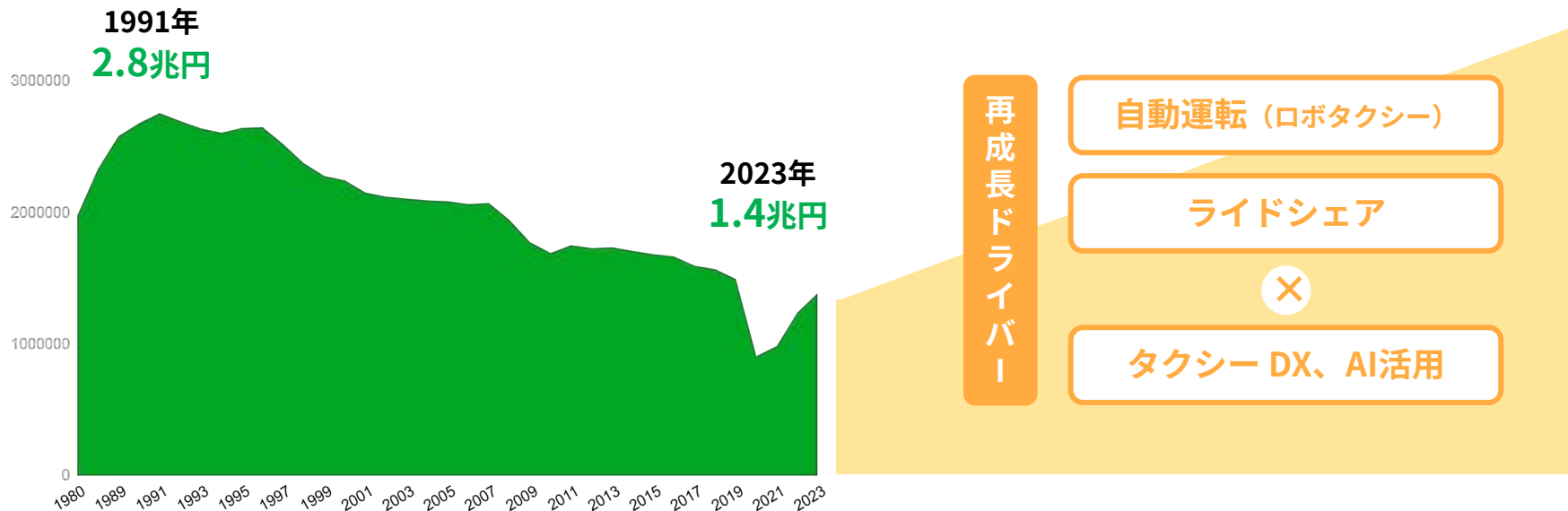
- ✓ 人手不足時代へ
の対応
- ✓ 事故の軽減



持続的な成長の実現

- タクシー市場の規模は1991年度2.8兆円をピークに2023年度1.4兆円まで低下
- 複合的なモビリティサービスを展開し再成長を図る

タクシー市場規模の推移と今後の成長ドライバー



タクシー事業：ロールアップとAI・DXの推進

- 創業から1年強で大阪にて1,000台規模へ、今後も事業承継による拡大を継続
- AI・DXの推進により、事業成長と再投資の好循環を創出
- 収益性の高いタクシー経営モデルを大阪で確立し、重点地域への横展開を予定

ロールアップ

2024年創業から3社が参画
大阪で1,000台規模での
タクシー事業を運営



newmo

- ✓ マネジメント力
- ✓ 資金調達力
- ✓ 技術開発力

AI・DXの推進

採用・教育の強化や
機能・Opsの統合をDXで推進
AIの導入で業務を効率化



AI配車システム



自動点呼

ロールアップによるタクシー事業の拡大

- タクシー事業のロールアップを推進し3会社及び1事業がnewmoグループへ参画
- グループ合計車両数約1,000台を超え、大阪3位の規模のタクシー会社へ



会社名	岸交	未来都	堺相互タクシー	タカラ自動車
参画時期	2024年3月	2024年7月	2025年4月	2025年11月 ※事業譲渡
住所	大阪府堺市	大阪府守口市	大阪府堺市	大阪府東大阪市
車両数	51台	794台	179台	63台 ※認可は2026年3月予定

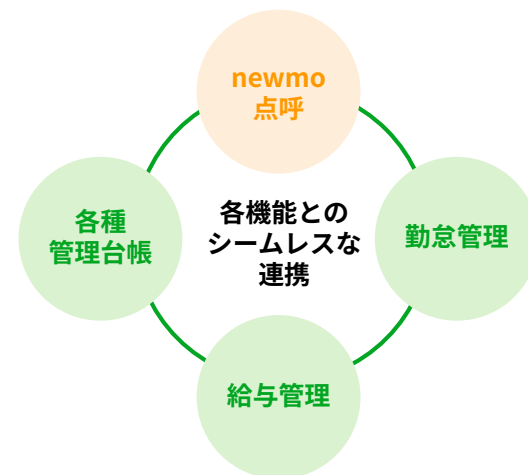
AI・DXの推進：newmo点呼

- newmo点呼は7月に国土交通省認定を取得、8月から順次導入開始

newmo点呼画面



各機能との連携



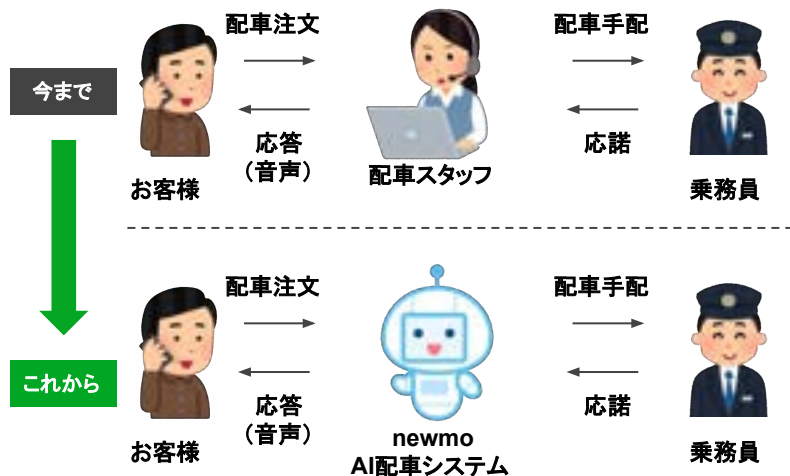
- 現在開発中の各機能と連携予定、部門間の非効率業務を削減
- 実際に利用する乗務員、内勤スタッフの声を直接吸い上げ開発に反映

※国土交通省の自動点呼機器認定取得済み（認定番号：G25-020）

AI・DXの推進：newmoAI配車システム

- AI配車システムによりピークタイムや夜間の受電も可能に、8月から順次導入開始

AI配車システム



管理画面



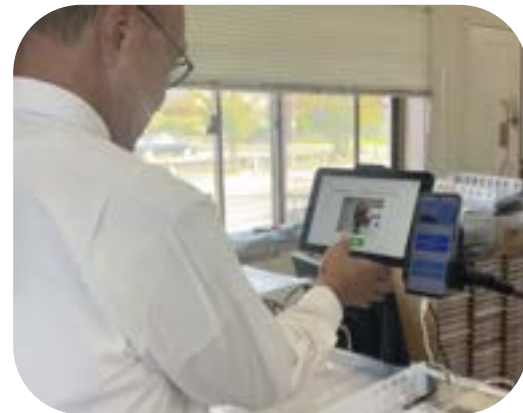
- お客様はこれまで通り電話の音声で注文
- 今までは受電しきれなかったピークタイムや夜間の配車注文にも対応
- 利用データが蓄積するほど AIの精度が向上

大阪にて新タクシー法人「夢洲交通」を設立

- 夢洲交通では、newmoが培ってきた「タクシーDX」の知見を注ぎ込み、AIツールの活用を前提にゼロから業務フローを見直した「AI時代のタクシー営業所」を目指す
- 25年冬に夢洲交通 森ノ宮営業所オープン予定



Photo Gallery : タクシー事業



日本版ライドシェアの開始

- 日本版ライドシェアを2024年7月に運行開始
- 大阪・関西万博のドライバー不足の軽減に貢献



自動運転タクシーの取り組み（1/2）

- 既存事業基盤やパートナー連携を活用して早期の商用自動運転タクシーの運行実現を目指す

newmoならではの取り組み

- newmoグループのタクシー事業基盤の活用
- 都市部での集中投下による高い学習スピードの実現
- 安全性を重視した低コストの車両開発



※画像はインテグレーション予定の車両のイメージとなります

パートナーシップの強化

- newmoとティアフォー、「日本発の自動運転タクシー」事業化に向け協業

newmo
X
TIER IV

自動運転タクシーの取り組み (2/2)

- 実走行・シミュレーションデータから自動運転モデルを継続的に改善
- タクシー営業基盤のある堺市、大阪市で実証走行を目指す

自動運転基盤モデルの改善



実証予定エリア

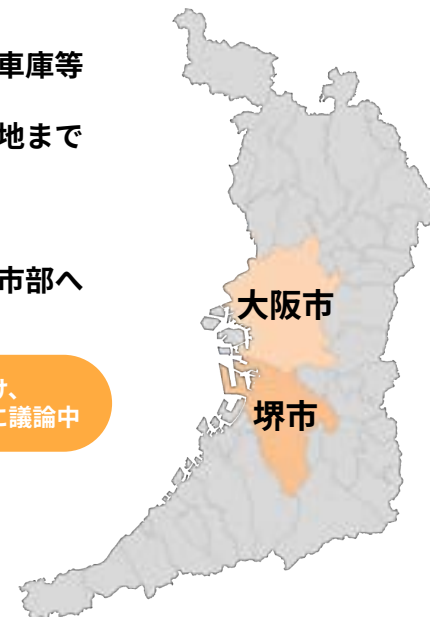
堺市

- 都市部近郊かつ車庫等の土地もあり
- 港湾部から市街地まで学習情報が豊富

大阪市

- 万博終了後、都市部へ拡大

実証開始に向け、関係各所と前向きに議論中



大阪での実証実験走行の様子

